		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分なスペースは確保していますが、学年が上がり体格的にも狭く感じる方もいらっしゃるかもしれません。場面や児童の皆さんの特性等に応じてクールダウンの時や、集中して活動したい時など使い分けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人数配置は適切ではありますが、時間帯によっては一時的な職員不足を感じる時があります。その際は、適宜声を掛け合いながら連携して一時的な人数不足を補いつつ支援しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	玄関の入口のバリアフリー化、室内蛍光灯にカバートイレの通路が狭いと言った設備不足を感じております。その都度、必要に応じて職員の見守りや付き添いを強化し、設備不足を補いつつ安全に過ごさせていけるように配慮して参ります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日、ミーティングの場を設け、支援を見直しつつ話し合いの内容も記録し職員全体で情報の共有をして日頃より支援しております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケート内容を全員で熟読し、改善に繋げております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今年度から第三者委員会を設置し、意見があれば改善に繋げて参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修は毎月実施しております。次年度からは社外への研修も積極的に参加しより良い支援へ繋げて参ります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			HUGの導入で、よりニーズにあった、計画作成をしております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			児童の皆さんの状態によって、より細分化して内容の見直しや、項目を追加するなど検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員が立てた計画を職員間で話し合い、その日にご利用される方々にあった、プログラムを作成できるよう努めております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化されたルーティンの中で活動することが必要な方々もいらっしゃるの、その都度話し合い、工夫した支援をして参ります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		時間帯が異なるので必要に応じて話し合い、細かい課題提供に努めております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別・集団と分けつつ、発達段階や特性に合った計画作成に努めております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティングを行い、役割や支援内容、配慮事項について確認しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日は送迎や翌日の準備もあり難しい為、翌日のミーティングでHUGの記録を確認しつつ、振り返りし改善点を話し合い支援しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録をなるべく具体的内容にして、保護者の方々との情報共有や目標達成、成長の喜びに繋がられるよう努めております。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児発管を中心として定期的にモニタリングを行い、支援の達成度を見極め、次計画の目標設定を検討しております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		社内研修にて、ガイドラインを定期的に確認し、日々の予定の中にはそれらの基本活動を組み合わせ合わせて支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		ケース会議、担当者会議には基本的には児発管が参加し、必要に応じて児発管以外の職員も参加を促しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		昨年度よりも連絡交換などの回数が増え、スムーズにやりとりをさせて頂けるようになってきていると感じます。ただ、依然として確認不足などのトラブルはあるので内容に応じて対応しております。引き続き当施設での取り組みなどを積極的に伝え、連携をより密にして参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、医療ケア児の方のご利用はありませんが、ご利用の際は連絡を取り合い、密に連携をしていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談員様より情報を提供をさせて頂いております。必要に応じて就学前の施設と連絡をとって、より良い支援に向けて連携を強めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		他事業所への移行の際には情報提供を行い、卒業時には関係者会議に参加しこちらの様子や特性についてお伝えし連携を図っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		助言や研修の機会は少ないのですが、児童発達支援センター(こころん)からのご利用児童の方も多く、見学や相談、助言等、積極的な連携を検討しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	コロナ禍もあって難しい状況ではありますが、系列店内でのイベントを企画したり、地域イベントにも参加できるようにしていきたいと思っております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	現状は未参加ではありますが、機会があれば積極的に参加していきたいと思っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や、お迎え時にご家庭、学校などの情報をHUGを活用しながら共有を図っております。児童の皆さんの良い場面も難しい場面もお話しをして、現状の共通理解に努めております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		児童の皆さんに対しての具体的な伝え方や関わり方、別の視点などをお伝えできるよう検討し、一緒に成長を見守らせて頂いております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		保護者の皆様には契約時や連絡事項のある際(お弁当の値上げ等)にはお知らせしております。引き続き丁寧な説明を心掛けて参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		傾聴し、悩みに共感しつつ相談に応じられるよう努めております。引き続き、ご家族全体通してどなたが相談にいらしても、お話ししやすい環境に配慮して参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在はコロナ禍の影響もあり、行っておりません。状況次第ではございますが、ニーズに沿って検討していければと考えております。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付の体制(研修や記録等)を整えた上で、責任者に報告し指示を仰ぎ、迅速で適切な対応を心掛けております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		ホームページやHUG、紙面にて様子や情報をお伝えしていますが、内容の見やすさや頻度については、その都度検討して参ります。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きのロッカーで保管しております。引き続き厳重に管理し、紛失やトラブルのないように注意して参ります。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ジェスチャーや絵カードの併用や、ゆっくりお話しすることなどを心がけております。また、ご理解が得られるように複数回お話しをさせて頂く事もあ
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍のため、現状は困難と判断しております。引き続き事業所の取り組みや在り方について理解を得られるような運営を図って行きます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し職員、保護者に周知し常に玄関に配置する事で速やかに開示出来るようにしております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年3~4回、地震、水害、家事、不審者を想定して訓練をしております。実施する際は当月の行事予定表にて告知をしております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を中心に、外部、内部の研修を受けて防止するための意識の強化に努めております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明をさせて頂いております。拘束が必要な場合には計画書に明記し、保護者の方の同意を頂いております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者の方々に事前に有無について確認して、必要に応じて書面のコピーを頂いております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ミーティングで話し合い作成しています。その都度、ヒヤリハット報告書を作成し検討、分析再発防止に努めております。